

鳴門市新スポーツ施設基本構想

令和7年3月

鳴門市 市民生活部 スポーツ課

目 次

第1章 基本構想策定の趣旨

1. 基本構想策定の背景	1
2. 基本構想の目的	1
3. 関連する個別計画との整合	1

第2章 現状と課題

1. 市内の体育館（社会体育施設）の概要	2
(1) 鳴門勤労者体育センター	
(2) アミノバリューホール（鳴門・大塚スポーツパーク内）	
2. 市内の小中学校プールの概要	3
3. 近隣市町の体育館・温水プールの先進事例比較	4
4. 課題	5

第3章 新スポーツ施設の基本的な考え方

1. 基本コンセプト	6
2. 建設候補地	7
3. 基本的な施設機能と規模	14
4. 事業手法・運営方法・財源	15

第4章 事業スケジュール

新スポーツ施設に関する市民アンケート結果	別添
----------------------	----

第1章 基本構想策定の趣旨

1. 基本構想策定の背景

本市では、保有する公共施設等の今後のあり方や総量の最適化などについて基本的な方向性を示す計画として、市総合計画など上位計画に基づく「鳴門市公共施設等総合管理計画」を平成28年度に策定（令和3年度改定）し、老朽化が進む各施設の維持管理や更新など、公共施設マネジメントに取り組んでいるところであります。

鳴門市民会館については、昭和36年11月に建設されて以降、59年間にわたり、市民の皆さんのスポーツ・文化の場として親しまれてきましたが、施設の老朽化と新庁舎の建設により、令和2年9月に閉館・取り壊しとなり、スポーツ・文化活動の場が一つ減ることとなりました。

また、市内小中学校プールの老朽化が進み、その抜本的な改善には多額の費用がかかるため、改修は難しい状況となっています。また、市内に公営・民営のプール専用施設がないため、水泳を学び楽しむためには市外の施設へ行く必要があり、身近なスポーツとは言えない状況にあります。

このような中、新たなスポーツ施設の整備を進めることにより、市民の皆さんが身近にスポーツを楽しめる環境を整えるため、新たなスポーツ施設の基本構想を策定することとしました。

2. 基本構想の目的

「鳴門市新スポーツ施設基本構想」は、鳴門市のスポーツ施設における現状や課題を把握し、関連計画との整合を図りつつ、基本コンセプト、機能や規模、建設候補地などに関する基本的な考え方を整理することを目的に策定します。

また、この「基本構想」で整理された考え方を基礎とし、その後に策定予定の「基本計画」等において、より具体的な内容について示されることとなります。

3. 関連する個別計画との整合

基本構想の策定にあたっては、本市の主要な計画に盛り込まれた方向性や施策との整合を図ります。

- **第七次鳴門市総合計画**

第七次鳴門市総合計画に掲げる「豊かな人を育むまちづくり」の実現に向け、スポーツ振興の拠点となることを目指します。

- **鳴門市都市計画マスタープラン・立地適正化計画**

エリア別の土地活用方針などを踏まえ、望ましい建設候補地を選定します。

- **鳴門市公共施設等総合管理計画**

公共施設等全体の施設総量や配置を考慮し、最適化の実現を図ります。

- **第2期鳴門市スポーツ推進計画**

市民が安全で安心してスポーツに取り組むことができる環境を整えることを目指します。

第2章 現状と課題

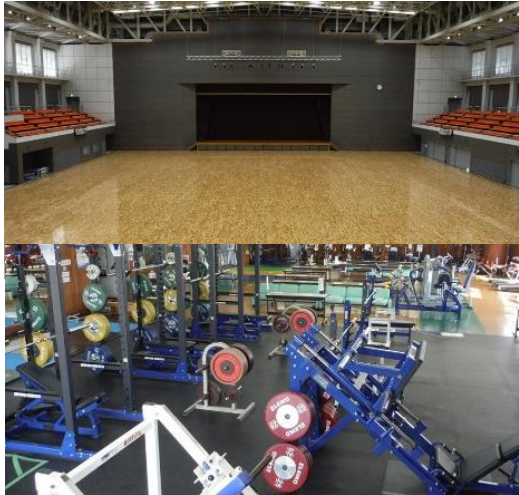
1. 市内の体育館（社会体育施設）の概要

現在、市内の体育館（社会体育施設）は、鳴門勤労者体育センターとアミノバリューホールの2カ所となりますが、両施設とも利用が多く、施設数としては不足している状況です。社会体育施設以外としては、市内17小中学校（休校含む）にて屋内運動場の施設開放を行っています。また、市内には学校施設以外の公営・民営によるプール専用施設はありません。

（1）鳴門勤労者体育センター

所在地	撫養町大桑島字湊岩浜 35-8	
運営主体	市直営	
利用状況	令和5年度利用実績 23,636人	
開設年	昭和55年	
延床面積	938.05㎡	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
付帯設備	更衣室、シャワー、自動販売機、休憩スペース	
開館時間	8時30分～21時30分	
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始	
施設状況	老朽化による不調箇所が多々あり。（新耐震基準非対応）	
施設概要	バレーボール（略式2面・公式1面）、バスケットボール（略式2面・公式1面）、バドミントン（3面）、卓球台（12台）、ソフトバレーボール（3面）	

（2）アミノバリューホール（鳴門・大塚スポーツパーク内）

所在地	鳴門市撫養町立岩字四枚 61 番地	
運営主体	（県施設：指定管理者） 公益財団法人 徳島県スポーツ協会	
利用状況	令和5年度利用実績 475,288人 （パーク全体の利用者）	
開設年	平成2年	
延床面積	メイン 2,500㎡ サブ 836㎡	
構造	鉄筋コンクリート造 3 階建	
付帯設備	会議室 更衣室 シャワールーム 救護室 トレーニングルーム	
開館時間	9時～21時	
休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始	
施設概要	【メインアリーナ】 バレーボール 4 面、ハンドボール 2 面、卓球 64 台、フットサル 2 面、バドミントン 16 面（コートマット 8 面） 【サブアリーナ】 バスケットボール 1 面、バドミントン 3 面	

2. 市内の小中学校プールの概要

※R 6 年度時点

小学校（12校）						
校名	使用状況	建設年	土地面積 (水面積)	長さ	コース	施設内容
撫養小学校	○	昭和 45 年	780 m ² (372 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、倉庫
林崎小学校	○	昭和 48 年	1,265 m ² (396 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
黒崎小学校	○	昭和 53 年	1,087 m ² (373 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
桑島小学校	○	昭和 45 年	1,582 m ² (333 m ²)	25m	6 本	機械室、便所
第一小学校	○	昭和 48 年	870 m ² (378 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
里浦小学校	○	昭和 47 年	836 m ² (410 m ²)	25m	6 本	機械室、便所
鳴門西小学校	○	昭和 54 年	1,043 m ² (369 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
明神小学校	○	昭和 60 年	936 m ² (380 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
大津西小学校	○	昭和 54 年	1,269 m ² (385 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室、
堀江北小学校	○	昭和 55 年	1,102 m ² (377 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室
堀江南小学校	○	平成 4 年	1,289 m ² (324 m ²)	25m	4 本	機械室、便所、更衣室、倉庫
板東小学校	○	昭和 63 年	1,338 m ² (380 m ²)	25m	6 本	機械室、便所、更衣室×2
中学校（4校）						
第一中学校	○	平成元年	2,748 m ² (900 m ²)	50m	8 本	機械室、便所、更衣室、 管理室、シャワー、倉庫
第二中学校	×	昭和 38 年	2,475 m ² (800 m ²)	50m	7 本	ポンプ室
鳴門中学校	○	昭和 48 年	783 m ² (350 m ²)	25m	7 本	便所、更衣室、倉庫
瀬戸中学校	×	昭和 47 年	833 m ² (315 m ²)	25 m	6 本	機械室、便所、更衣室、倉庫
大麻中学校	平成 21 年度撤去					

3. 近隣市町の体育館・温水プールの先進事例比較

	プール		プール+体育館	体育館
	松山中央公園プール (アクアパレットまつやま)	東かがわ市温水プール (JOYFIT HAPPY BASE)	神戸市立市民福祉 スポーツセンター	五色台運動公園 (アスパ五色)
完成日	平成 17 年 5 月	令和 6 年 4 月	平成 6 年	平成 13 年
施設 規模	延べ床面積 7,999 m ² (2 階建、地下 1 階)	延べ床面積 2,675 m ² (1 階建)	体育館：758 m ² プール：不明	約 1,700 m ²
運営 方法	指定管理	指定管理	指定管理	市直営
主な 利用者	一般 学生の大会 (小～高)	地元の高齢者	一般、障がい者 (土曜は 障がい者利用のみ)	学生の大会 (高・大)
学校 利用	学校の利用は少ない	小・中学校	なし	なし
プール 設備	・温水プール 50m×8 レーン (可動壁・可動床)、 ・健康プール ・屋内用幼児用プール ・屋外レジャープール (スライダーあり) ・床暖あり	・温水プール 25m×7 レーン (2 レーン分を 学校利用で使用) ・小プール ・歩行用プール	・温水プール 25m×6 コース (1 レーンにフロア台 設置 80 cm) ・障がい者優先レーン あり (スタートゴール の壁にクッション 設置) ・床暖あり	なし
附属 設備	・会議室 ・多目的スペース ・シャワールーム ・自動販売機 ・トイレ (障がい者用あり) ・空調なし	・浴室 ・ジャグジー ・トレーニングジム ・レッスンスタジオ ・救護室 ・更衣室 ・多目的更衣室 ・トイレ (障がい者用あり) ・空調あり	・更衣室 ・リターン式ロッカー ・観覧室 ・多目的トイレ ・シャワールーム (障がい者用あり) ・自動販売機 ・全館一括空調あり	・トレーニングジム ・シャワールーム ・自販機コーナー ・会議室 ・医務室 ・放送室 ・更衣室 ・洗濯室 ・トイレ (障がい者用あり) ・スポットクーラーあり
観客席	約 700 席	なし	体育館：なし プール：約 15 席	約 250 席
駐車 台数	プール専用駐車場約 100 台+松山中央公園	約 190 台 (おもいやり駐車場あり)	17 台 (うち障がい者用 6 台)	約 200 台 (普通車) 身障者用：3 台 大型専用：5 台
アク セス	路線バス (徒歩 3 分)	路線バス (徒歩 10 分)	市バス (施設前)	路線バス (施設前)

4. 課題

近年は、社会環境の変化によるストレス増大や健康志向の高まり等から、スポーツ・運動に関する市民の期待が高まっている一方、市内の施設老朽化が進み改修は難しいため、市民会館に代わる体育館が必要です。スポーツや運動は、心身の健全な発展、健康や体力の保持・増進、生活習慣病の予防等、私たちが健康でいきいきとした潤いのある生活を実現するために、日々の生活の一部として、欠かすことのできないものです。

今後も市民の皆さんにスポーツや運動を継続的に行っていただき、また、新たに始めていただくためには、参加機会の創出に加え、スポーツ施設等の環境整備が求められます。

なお、施設整備にあたっては、将来的には人口の減少が見込まれることから、人口動態も含めた適正な整備計画や運営方法等について検討する必要があります。

(1) 体育館の必要性

現在、本市における社会体育施設としての体育館は、鳴門勤労者体育センター、アミノバリューホールがありますが、ともに大会や普段利用で稼働率が高く、新たな利用を始めようとしても場所の確保が難しい状況であることから、新たな施設の整備が必要です。

(2) プールの必要性

現在、市内には公営・民営のプール専用施設がなく、プールを利用したい市民は市外施設を利用している状況であるほか、小中学校のプールも老朽化が進んでおり、その維持が課題となっています。

これまで身近にプールがなかったことにより、水泳にふれる機会がなかった市民に対し、その機会を提供することが必要であるとともに、全国的に進められている学校水泳授業での利用なども視野に入れ、プールを整備する必要があります。

(3) 市民アンケート結果

市内の青少年・成人・スポーツ団体を対象に実施した市民アンケートの結果では、「新しいスポーツ施設(体育館+屋内温水プール)が必要か」という設問に対し、青少年の 58.5%、成人の 73.3%、スポーツ団体の 92.1%が「必要※」と答えており、多くの市民が必要と考えています。

(※「必要だと思う」「どちらかと言えば必要だと思う」の合計)

(4) 災害発生時における避難所としての役割

公共施設は、災害発生時においては市民の命を守る避難所としての重要な役割を担っており、特に体育館は大勢の市民を受け入れることができる施設です。新たな施設の建設は、災害に強いまちづくりにも繋がります。

第3章 新スポーツ施設の基本的な考え方

1. 基本コンセプト

新スポーツ施設は、市民のスポーツ推進の拠点となることはもとより、健康づくりや地域活性化の拠点として、さらに災害発生時にも活用できるフェーズフリーの観点を取り入れ、本市の新たなシンボルとなり、夢と希望を未来へつなぐ施設とします。

① 市民がスポーツに親しむスポーツ推進の拠点施設

② 市民がいつまでも元気に暮らせる健康づくりの拠点施設

③ スポーツを活かした賑わい創出の拠点施設

④ 災害に強いまちづくりに繋がる施設

①市民がスポーツに親しむスポーツ推進の拠点施設

年齢や性別、障がいの有無等を問わず、市民が気軽に立ち寄り利用でき、健康づくりから競技スポーツまで、幅広い利用者のニーズに対応するスポーツ推進の拠点施設を目指します。

②市民がいつまでも元気に暮らせる健康づくりの拠点施設

多くの市民に利用いただき、スポーツにふれる機会を創出することによって、市民の健康づくりへの関心を高め、いつまでもいきいきと元気に暮らしていくための健康づくりの拠点施設を目指します。

③スポーツを活かした賑わい創出の拠点施設

多くの市民が集い交流し、市民が愛着を感じ、鳴門市のイメージを高める新たなシンボルとなるような施設を目指します。また、スポーツ大会・合宿・各競技者への合宿等の誘致、スポーツツーリズムの推進を通して、本市が誇る豊かな自然や味覚、伝統や文化などの地域資源をPRし、本市での経済活動に繋げ、賑わい創出の拠点施設を目指します。

④災害に強いまちづくりにつながる施設

さまざまな災害の発生を想定して、災害発生時には避難所として活用を検討するほか、備蓄物資のためのスペース確保や、プールの貯水を生活排水等に有効活用するなど、被災時に市民の力となる施設を目指します。

さらに『フェーズフリー』※の観点を取り入れ、平常時と災害時の両方のフェーズにおいてメリットのある設備・サービス等について検討します。

※フェーズフリーとは、平常時や災害時などのフェーズ（社会の状態）に関わらず、適切な生活の質を確保しようとする概念です

2. 建設候補地

新スポーツ施設を建設できる可能性のある一定の敷地面積を有する市有地および委員より提言のあった民有地等の建設候補地については、次の4カ所となります。

- ① うずしおふれあい公園（23,500 m² 市有地 [撫養町斎田]）
- ② 旧衛生センター敷地（17,800 m² 市有地 [撫養町木津]）
- ③ ボートレース鳴門西側敷地（14,642 m² 市有地 [撫養町大桑島]）
- ④ 鳴門駅西側周辺（4,000 m²程度 民有地等 [撫養町小桑島]）

圏域を踏まえた視点

鳴門市都市計画マスタープランでは、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指すこととしており、市内に「重点まちづくり区域」1カ所と「新たなまちづくりエリア（サブエリア含む）」を9カ所設定し、その中でスポーツに関するエリアを2カ所定めています。

「重点まちづくり区域」（鳴門駅周辺一帯）

本市の重点まちづくり区域として定め、個性的で魅力ある商業・業務機能の集積を促進し、徒歩や自転車で移動できる範囲に必要な都市機能が集積するコンパクトで歩いて暮らせる市街地エリア。

「行政・文化・スポーツエリア」（市庁舎、文化会館周辺）※上記区域と重複。

本市を代表する行政・文化・スポーツ施設が立地しており、既存施設の機能向上や更新・活用などを進め、市民の生活を支えるエリア。

「アーバンスポーツ・レクリエーションエリア」（ボートレース鳴門周辺）

アーバンスポーツ・レクリエーション空間として、ボートレース鳴門・温浴施設・UZUPARKなどの各施設において、賑わいや活気を創出し、活性化を図るエリア。

事業期間と費用負担を踏まえた視点

新スポーツ施設を整備する上で、民有地等を新たに取得して進める場合は、用地取得に係る事務の煩雑さによる事業期間の長期化が懸念されるほか、土地所有者の意向が事業の進捗に大きな影響を与えることや、土地取得費などの費用負担が大きくなることが想定されます。

また、新庁舎建設時に実施した市民アンケートでは、「新たな場所に土地を購入して新庁舎を建設すべき」との意見は、全体の3%であり、93%が「市有地に建設すべき」との意見であったことから、新スポーツ施設の建設も同様に、市有地を活用し事業費を抑えることが求められると考えられます。

このようなことから、民有地等に明らかな優位性がない場合や、市有地に大きなデメリットがない場合、新たに用地取得を行うメリットは薄いものと思われます。

学校プール集約化の視点

老朽化した学校プールの代替施設として新たなスポーツ施設のプールを使用する場合に、円滑な授業を行うため、各小中学校からの距離と移動時間が重要となります。各候補地からの距離と所要時間の推計は下記のとおりです。

①うずしおふれあい公園からの距離・時間

	移動 距離	車所要時間
撫養小学校	0.6 km	2 分
黒崎小学校	0.9 km	2 分
林崎小学校	2 km	6 分
桑島小学校	0.7 km	2 分
第一小学校	2.7 km	7 分
里浦小学校	3.3 km	8 分
鳴門西小学校	5.2 km	9 分
明神小学校	3.2 km	5 分
大津西小学校	4.6 km	8 分
堀江北小学校	7.7 km	12 分
堀江南小学校	8.9 km	13 分
板東小学校	11.2 km	17 分
第一中学校	1 km	3 分
第二中学校	2.7 km	7 分
鳴門中学校	4.1 km	8 分
瀬戸中学校	4.7 km	9 分
大麻中学校	8.9 km	13 分
小学校平均	4.3 km	7.6 分
中学校平均	4.3 km	8.0 分
平均	4.3 km	7.7 分

②旧衛生センター敷地からの距離・時間

	移動 距離	車所要時間
撫養小学校	3.2 km	7 分
黒崎小学校	3.1 km	5 分
林崎小学校	4.4 km	9 分
桑島小学校	3.7 km	7 分
第一小学校	2.4 km	5 分
里浦小学校	6.4 km	12 分
鳴門西小学校	5.6 km	8 分
明神小学校	4.7 km	6 分
大津西小学校	1.9 km	4 分
堀江北小学校	5.1 km	8 分
堀江南小学校	6.9 km	10 分
板東小学校	8.7 km	13 分
第一中学校	3.4 km	6 分
第二中学校	5.3 km	9 分
鳴門中学校	6.9 km	9 分
瀬戸中学校	6.6 km	9 分
大麻中学校	6.4 km	10 分
小学校平均	4.7 km	7.8 分
中学校平均	5.7 km	8.6 分
平均	5.0 km	8.1 分

③ボートレース鳴門西側敷地からの距離・時間

	移動 距離	車所要時間
撫養小学校	2.1 km	5 分
黒崎小学校	1.6 km	3 分
林崎小学校	2.6 km	5 分
桑島小学校	1.2 km	3 分
第一小学校	4.8 km	9 分
里浦小学校	4.4 km	8 分
鳴門西小学校	3.9 km	6 分
明神小学校	2.7 km	4 分
大津西小学校	5.5 km	9 分
堀江北小学校	8.6 km	13 分
堀江南小学校	9.8 km	14 分
板東小学校	12.2 km	18 分
第一中学校	2.5 km	5 分
第二中学校	3.2 km	6 分
鳴門中学校	2.8 km	5 分
瀬戸中学校	4.2 km	6 分
大麻中学校	9.9 km	14 分
小学校平均	5.0 km	8.1 分
中学校平均	4.5 km	7.2 分
平均	4.8 km	7.8 分

④鳴門駅西側周辺からの距離・時間

	移動 距離	車所要時間
撫養小学校	1.1 km	3 分
黒崎小学校	1.7 km	5 分
林崎小学校	1.6 km	5 分
桑島小学校	1.2 km	4 分
第一小学校	2.9 km	7 分
里浦小学校	3.4 km	9 分
鳴門西小学校	5.7 km	11 分
明神小学校	4 km	7 分
大津西小学校	4.6 km	10 分
堀江北小学校	7.9 km	14 分
堀江南小学校	8.9 km	16 分
板東小学校	11.5 km	19 分
第一中学校	0.9 km	3 分
第二中学校	2.7 km	6 分
鳴門中学校	4.6 km	9 分
瀬戸中学校	5.5 km	11 分
大麻中学校	9.4 km	16 分
小学校平均	4.5 km	9.2 分
中学校平均	4.6 km	9.0 分
平均	4.6 km	9.1 分

※距離及び所要時間はGoogleMap調べ、参考とする。

	平均移動距離	平均所要時間
①うずしおふれあい公園	4.3 km	7.7 分
②旧衛生センター敷地	5.0 km	8.1 分
③ボートレース鳴門西側敷地	4.8 km	7.8 分
④鳴門駅西側周辺	4.6 km	9.1 分

市内小中学校と候補地との距離と所要時間を比較したところ、大きな差はないものの、①うずしおふれあい公園が最も平均移動距離が短く、車での移動に要する時間も短いという結果となりました。

また、候補地から 5km 以内の小中学校数としては、①うずしおふれあい公園が 12 校、②旧衛生センター敷地が 8 校、③ボートレース鳴門西側敷地が 12 校、④鳴門駅西側周辺が 11 校となっており、①うずしおふれあい公園と③ボートレース鳴門西側敷地が近接する学校数が多い状況です。

アンケートによる市民等の意向

市民アンケートで新たなスポーツ施設の場所に関連する内容を聞き取っており、上位の回答については次のとおりです。 [別添アンケート結果より抜粋]

①新しいスポーツ施設の近くにあればいいと思う施設

青少年：①コンビニ 70.4% ②スポーツショップ 44.7% ③飲食店 43.1%
成人：①コンビニ 57.4% ②銭湯・温泉 49.1% ③飲食店 41.3%
団体：①コンビニ 88.0% ②飲食店 52.0% ③銭湯・温泉 42.0%
地区自治振興会：①コンビニ 75.0% ②飲食店 50.0% ③銭湯・温泉 41.7%
商工業関係団体：①コンビニ 84.6% ②飲食店 73.1% ③銭湯・温泉 46.2%
勤労者体育センター・図書館利用者：①コンビニ 58.1% ②銭湯・温泉 44.2% ③公園 41.9%

▶全対象で「コンビニ」が最も高く、「飲食店」「銭湯・温泉」が上位に位置しています。

②新しいスポーツ施設へのアクセスに望むこと

青少年：①自転車で移動できる距離 69.2% ②広い駐車場がある 51.4%
③家族等に送迎をしてもらえる距離 35.8%
成人：①広い駐車場がある 87.7% ②バス停が近くにある 37.8%
③自転車で移動できる距離 29.1%
団体：①広い駐車場がある 98.0% ②バス停が近くにある 52.9%
③広い道路沿いにある 35.3%
地区自治振興会：①広い駐車場がある 87.7% ②バス停が近くにある 37.8%
③広い道路沿いにある 29.1%
商工業関係団体：①広い駐車場がある 87.7% ②バス停が近くにある 37.8%
③自転車で移動できる距離 29.1%
勤労者体育センター・図書館利用者：①広い駐車場がある 87.7%
②バス停が近くにある 37.8% ③自転車で移動できる距離 29.1%

▶青少年においては「自転車で移動できる距離」「家族等に送迎をしてもらえる距離」が高く、他の対象では「広い駐車場がある」「バス停が近くにある」の割合が高くなっています。中でも「広い駐車場がある」は、対象を問わずに多くの方が望む項目となっています。

市民アンケートの結果から、新たなスポーツ施設の近くには「コンビニ」「飲食店」「銭湯・温泉」があり、あわせて「広い駐車場」が確保でき、「バス停が近くにある」場所が望まれていることが伺えます。

各候補地周辺の緊急避難場所等の状況

(参考)

候補地	災害種類	周辺の避難所・場所	想定収容人数
① うずしおふれあい公園	全般	鳴門高等学校（体育館）	1,804 人
	津波	撫養小学校（校舎）	2,075 人
		鳴門高等学校（校舎・体育館）	3,255 人
		鳴門市総合運動場	16,052 人
② 旧衛生センター敷地	全般	天理教撫養大教会	51 人
		木津元村集会所	23 人
		原地集会所	26 人
	津波	木津神地区ふれあい運動場	5,177 人
		城山東側道路	2,151 人
		鳴門市し尿処理施設場内	11,515 人
③ ボートレース鳴門 西側敷地	全般	徳島北農業協同組合うずしお支店	51 人
		桑島小学校	1,062 人
		鳴門市立図書館	1,904 人
	津波	高速鳴門バス停	764 人
		高速鳴門バス停立体駐車場	1,747 人
		市営桑島第二団地	168 人
④ 鳴門駅西側周辺	全般	徳島北農業協同組合うずしお支店	51 人
		桑島小学校	1,062 人
		鳴門市立図書館	1,904 人
	津波	日峯マンション	292 人
		サンライズ大桑島	421 人
		市営桑島第二団地	168 人

※各候補地より 1km 以内の避難所・緊急避難場所。

建設候補地の比較表

	①うずしお ふれあい公園 (23,500 m ²)	②旧衛生センター 敷地 (17,800 m ²)	③ボートレース 鳴門西側敷地 (14,642 m ²)	④鳴門駅西側周辺 (4,000 m ² 程度)
経済性 用地取得の 必要性	△ 市有地であるため、 新たな用地取得は不要。 但し、都市公園機能を確 保するならば新たな用 地取得が必要	○ 市有地であるため、 新たな用地取得は 不要	○ 市有地であるため、 新たな用地取得は 不要	× 民有地等であるため、 取得費用や賃借料が発 生
利便性 バス停や駅から のアクセス	○ バス停が隣接 鳴門駅から約 700m	× バス停から約 940m 教会前駅から約 1 k m	○ バス停が隣接 鳴門駅から約 2 k m	○ バス停が隣接 鳴門駅から約 300m
利便性 駐車場の確保	○ 敷地内において十分な 駐車場の確保が可能	○ 敷地において十分な 駐車場の確保が可能	○ 敷地および隣接するポ ートレース鳴門におい て十分な駐車場の確保 が可能	× 駐車場の確保が困難
利便性 周辺施設	○ コンビニ、スーパー、 飲食店等	× 周辺施設なし	○ コンビニ、スーパー、 飲食店、温浴施設等	○ スーパー、飲食店等
安全性 地震による 影響等 (※)	× 最大震度 7 (活断層) 既知活断層まで 700m (イエローゾーン外) 液状化危険度…極めて 高い	△ 最大震度 6 強 (活断層) 既知活断層まで 330m (イエローゾーン外) 液状化危険度…かなり 低い	× 最大震度 7 (活断層) 既知活断層まで 1.3km (イエローゾーン外) 液状化危険度…極めて 高い	× 最大震度 7 (活断層) 既知活断層まで 250m (イエローゾーン外) 液状化危険度…極めて 高い
安全性 津波による 影響等	△ 周辺に高台あり (学校施設等)	○ 立地自体が高台にあり	△ 周辺に高台あり (高速鳴門バス停)	△ 周辺に高台あり (民間施設)

※最大震度および液状化危険度は徳島県中央構造線・活断層地震による被害想定。

	①うずしおふれあい公園 (23,500 m ²)	②旧衛生センター敷地 (17,800 m ²)	③ボートレース鳴門西側敷地 (14,642 m ²)	④鳴門駅西側周辺 (4,000 m ² 程度)
都市計画 マスタープラン との整合性	△	×	○	△
	将来都市構造上は「重点まちづくり区域」「商業エリア」に属する	将来都市構造上は「指定なし」	将来都市構造上は「アーパンスポーツ・レクリエーションエリア」に属する	将来都市構造上は「重点まちづくり区域」「商業エリア」に属する
学校プール 集約化の視点 各小中学校からの平均距離・ 移動時間等	○	△	○	△
	・平均移動距離 4.3 km ・平均所要時間 7.7 分 ・5km 以内の小中学校数 12 校	・平均移動距離 5.0 km ・平均所要時間 8.1 分 ・5km 以内の小中学校数 8 校	・平均移動距離 4.8 km ・平均所要時間 7.8 分 ・5km 以内の小中学校数 12 校	・平均移動距離 4.6 km ・平均所要時間 9.1 分 ・5km 以内の小中学校数 11 校
周辺環境	×	○	○	×
	隣接住居多数あり	隣接住居なし	隣接住居なし	隣接住居多数あり
その他	都市公園の代替地に関する検討が必要。住宅地に位置するため、周辺環境との調和に配慮が必要。	災害応急対策、復旧対策時における他機関（応援部隊）の集結候補地となっている。災害廃棄物の集積候補地となっている	ボートレースの日程により、大きなレース開催日には駐車場の制限を考慮する必要がある。	民有地等を取得するための費用や賃借料の発生が課題となる。

上記評価を点数化した場合の比較

○=2点、△=1点 ×=0点とした場合 (18点満点)	11.0 点	10.0 点	15.0 点	7.0 点
-----------------------------------	--------	--------	--------	-------

まとめ

建設場所を選定するにあたって、候補地4カ所を「経済性」や「利便性」、「安全性」、「整合性」、「学校プール集約化」などの観点から比較し、その評価を点数化した結果、③ボートレース鳴門西側敷地が最も高い点数となりました。

このことから、新たなスポーツ施設の建設候補地としては、「ボートレース鳴門西側敷地」が望ましいと考えます。

3. 基本的な施設機能と規模

新スポーツ施設の整備にあたっては、市民の日常的なスポーツ・運動での利用を基本とし、体育館と屋内温水プール等をあわせた複合的な施設とします。

体育館

誰もが利用しやすく地域に適した規模を基本とし、旧市民会館で開催されていた市民スポーツ祭規模の大会が開催可能なものとします。

観客席については、体育館の規模等にあわせて勘案して設置するものとします。

具体的な施設規模については、基本計画にて検討を進めます。

プール

新しく整備するプールについては、一般利用のほか、老朽化により改修時期を迎えている学校プールの集約化に取り組むことを前提とします。

現在、市内小学校には 25m プール、中学校には 50m プールと 25m プールが整備されており、第一中学校の屋外 50m プールを利用して鳴門市小学校水泳能力検定会などが開催されていることから、今後の計画では、25m 又は 50m プールの特性を考慮した上で施設規模の検討を進め、加えて観戦エリアの設置についても検討します。

また、熱中症アラートが頻発し屋外プールが使用できない事例も散見されることから、1 年を通して天候や季節に左右されない環境での計画的な水泳授業を実施するため、屋内の温水プールを候補として検討します。

その他

市民アンケートの結果では、「新しいスポーツ施設に必要と思う設備」については、上位の回答として、「冷暖房」「自動販売機」「シャワールーム」「トレーニングジム」などが求められています。

さらに、「新しいスポーツ施設をだれもが使いやすい施設とするために必要な設備」としては、「階段の手すり・スロープ」「見学、休憩用の椅子・ベンチ」「多目的トイレ」「おもしろい駐車場」「エレベーター」などの項目が上位の回答となっています。

これらの回答結果を踏まえて、今後、設備や機能についてさらに検討を進めていくとともに、子どもから高齢者まで、また、障がいの有無等に関わらず、だれもが利用しやすい施設とするため、バリアフリーやユニバーサルデザイン等に配慮した、インクルーシブな施設を目指します。

4. 事業手法・運営方法・財源

新スポーツ施設の整備においては、従来型の公共事業による事業手法のほか、公共側と民間事業者が適切な役割分担と連携のもと事業を推進する、「PFI」や「DB+O」などの官民連携型の事業手法が考えられます。特に「DB+O」方式については、設計・施工を一括化することで発注準備期間や工期の短縮が期待できるため、事業の効率性向上と施設の早期完成等の観点から、事業手法について検討を進めます。

なお、新スポーツ施設は、地域の賑わいの拠点となり、地域課題の解決に貢献できるものであることが求められるため、運営方法については、財政負担の軽減はもとより、利用者目線による良質なサービスの提供や適切な維持管理をより効率的かつ効果的に実現できるよう、民間活力を活用した管理運営方法の導入可能性について検討することとします。

財源については、地方公共団体を対象とした国の交付金や起債のほか、ポートレースの財源を活用することも視野に入れて検討します。

第4章 事業スケジュール

今後につきましては、基本構想の策定にあたり実施した市民アンケート調査で寄せられた多数のご意見やご要望を踏まえ、基本構想で整理した基本的な考え方に基づき基本計画の策定に取り組む予定です。

基本計画では、より具体的な機能、規模等について整理し、その後の設計・施工へと進めていきます。

【 標準的な完成までのスケジュール 】

段 階	概 要	事業期間
基本構想	新施設の必要性、基本方針、機能、規模、場所等についての考え方を整理したもの	
基本計画	基本構想で整理された新施設の考え方について、具体的な機能、設備、規模等を示したもので、その後の設計の要求事項となるもの	約1年
基本設計	基本計画で示された新施設の具体的な要求事項について、敷地条件や法令等を考慮して、平面・立面・断面等の基本的な図面としてまとめたもの	約2年
実施設計	基本設計の図面を元に実際に工事を行うために、材料・寸法・数量・費用・意匠等を詳細な図面・積算としてまとめたもの	
建設工事		約2年

※事業手法等により、上記期間をなるべく早め、施設の早期完成を目指します。

鳴門市新スポーツ施設基本構想

発	行	鳴門市	
発	行	日	令和 7 年（2025 年）3 月
企画・編集		鳴門市市民生活部スポーツ課	
		〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜 170	
		TEL／088-684-1302 FAX／088-684-1309	
		E-mail／sports@city.naruto.i-tokushima.jp	